松本市広報　R8－10

学校だより　第7号

たかつな

松本市立高綱中学校

発行責任者　野澤　重徳

令和8年10月20日

第74回　若鷹祭

彩（いろどり）

～繋げて重ねて一彩に～

10月2日(金)に第74回若鷹祭が行われました。



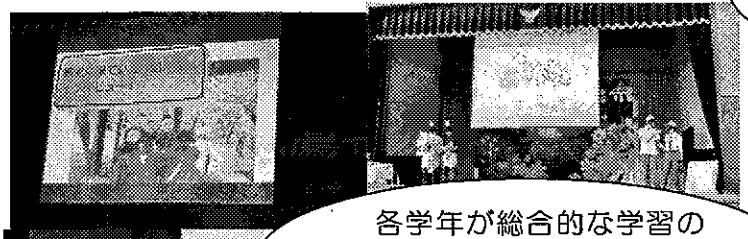
美術部製作の華やかなステージバックです。



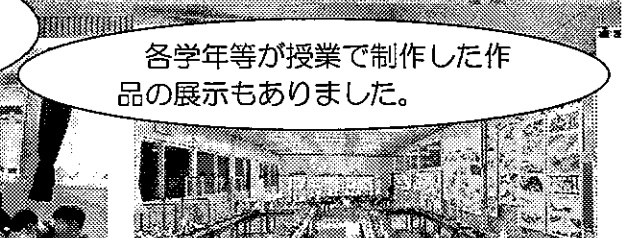
全校製作は、全校生徒がオリジナルのうちわを作成し、そのうちわに生徒会企画で集めた花を貼って「彩」の文字が出来上がりました。



前日には、生徒会役員による開祭宣言で若鷹祭がスタートしました。



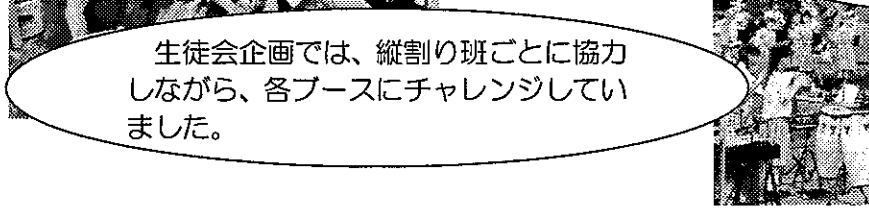
各学年が総合的な学習の時間で取り組んでいる内容をステージで発表しました。



各学年等が授業で制作した作品の展示もありました。



吹奏楽部の発表は、演奏に合わせて会場が一体となり大いに盛り上がりました。



生徒会企画では、縦割り班ごとに協力しながら、各ブースにチャレンジしていました。







音楽会は、クラス合唱及び学年合唱による歌声が会場に響き渡りました。
３学年合唱「青い鳥」は、会場にいる全ての人に感動を与えてくれました。



開閉祭式、生徒会企画等、若鷹祭を盛り上げてくれた実行委員長をはじめとした生徒会役員の皆さん、限られた準備期間の中で綿密に準備を重ね、全校が楽しめる充実した時間となりました。
本当にありがとうございました。



若鷹祭が終わり、今週には若鷹杯が予定されています。委員会対抗の種目や全員リレー・大縄跳び等を実施します。保護者の皆様の来校をお待ちしています。

＊生徒の感想から＊

○３年生が委員会の時にわかりやすく説明してくれて、とても助かりました。ぼくも見習って、そんな３年生になりたいと思いました。

○休日にも生徒会役員の人が学校に行って若鷹祭の準備をしてくれていて、本当に大変だと思ったけど、素晴らしい若鷹祭になってよかった。

○全校の人が良い若鷹祭になるように、試行錯誤して準備を重ね、当日は楽しい若鷹祭を作り上げることができて良かった。